

## 第 6 章

### 結論と勧告

---

## 第6章 結論と勧告

### 6.1 結 論

本調査報告書は、2009年2月から2010年8月までの間にカウンターパート機関であるMAGAP国際協力部との協働の下に行われた調査結果に基づいて取りまとめられた成果である。

#### 【調査計画の概要】

本調査計画の目的は、より効果的かつ効率的な小農支援を行うための小農支援関連機関の再編成計画を策定することであったが、調査期間中に「エ」国内で小農支援に関する状況が大きく変貌し、計画の内容も小農支援機関の取るべき協調体制が大きな課題となった。

小農支援のためには、MAGAP本省、MAGAP県事務所、県政府、市政府、およびパロキア政府が協調することが必要不可欠であり、小農支援機関の協調の場として、「農牧フォーラム」と「農牧円卓会議」を提案しているが、この背景にはMAGAPにおける「国家農村開発計画」の策定と地方における「テリトリアル開発計画」の進展がある。また、小農にとって必要な営農技術およびサービス支援を提案している。

#### 【「国家農村開発計画」と「農牧フォーラム」・「農牧円卓会議」】

新憲法の制定とSENPLADESによる「国家開発計画」の策定をうけ、MAGAPは「国家農村開発計画」を策定し、小農支援に関しては、総合的なアプローチにより小農による基礎穀物の生産性を2倍に上げ、小農の収入向上を図ることによって農村における「良い生活」を達成することを目的としている。

MAGAPを初めとする中央官庁には、セクター行政としての政策策定とその実施が求められている。中央官庁の地域開発に係わる政策は開発の現場において、テリトリアル開発と国家政策の融合を行うことで実施されるべきであり、そのためには地域開発の実施機関である地域政府と中央諸庁が協働できる仕組みを作り上げる必要がある。

「農牧フォーラム」と「農牧円卓会議」はこのために機能する組織である。MAGAPの政策は地方政府の「テリトリアル開発計画」の中に取り込まれ、県や市の地方政策実施機関によって実行される。

#### 【テリトリアル開発の実現に必要な小農支援機関の協調体制】

「エ」国では、地域開発のパラダイムシフトが今進行している。地方分権化が進み県や市などの地方政府の地域開発における責任が増す中、同時にテリトリアル開発という概念によりこれまでは公共セクターの支援側がいかに効率的・効果的なサービスを提供するかが最も重要であった農牧開発や貧困小農支援が、今後は民間セクターや受益者グループと一体となって開発を進めていくことが求められるようになった。すなわち今後地方行政に地域開発のコーディネート能力が現在以上に要求されているということである。

現在「エ」国では、「テリトリアル開発計画」が市政府において作成途上であるが、県政府や SENPLADES などからの支援があるものの市政府にとってテリトリアル開発を策定することは容易ではなく、試行錯誤の状態が続いている。

テリトリアル計画は、地方政府と中央官庁が協働できる仕組みを作り上げるために重要な基礎となる計画であり、テリトリアル開発計画の農牧部門の計画には県政府・MAGAP が協調し、市政府に農牧開発の専門的な知識・経験をもって緊急に支援を行う必要がある。また県政府においても、市政府が作成したカントンレベルのテリトリアル計画を取りまとめ、県レベルのテリトリアル計画として策定しなければならず、このために市政府および MAGAP の協調は不可欠である。

### 【農牧円卓会議設立推進室を立ち上げ】

本報告書の提案は、新憲法および国家開発計画で国家の目標とされている、良い生活を実現するための一つの農牧開発のための全アクター協調システムであり農牧業の政策と言えるものである。すなわち本提案事項を全国に普及させることは MAGAP の本来的な役割と言える。このために MAGAP は、本報告書に記載されたように早急に農牧円卓会議設立推進室を立ち上げ、全国の県事務所を通じて県政府、市政府およびその他関連機関と協調体制を確立する必要がある。

### 【内部マネージメントシステムの向上】

現在までシエラ地域では様々なプロジェクトが実施されてきたが、過去のプロジェクトの教訓を新たなプロジェクトへ反映させる、十分なシステムが存在していない。また、今後協調体制下で小農支援プロジェクトが実施されるにあたり、各機関で共通のプロジェクトを理解するためのツールが必要となる。このために本報告書で提案された内部マネージメント向上計画を MAGAP および県政府は採用する必要がある。

### 【貧困小農が必要とする技術】

「エ」国の貧困問題はシエラ地域の農村部で大きい。そして、小農の営む農牧業の課題として①持続的土地利用の崩壊、②郷土作物の喪失と遺伝的形質の劣化、③余剰農産物の適正な販売が困難、および④価値連鎖構築の基本となる農民組織化の遅れの 4 つを指摘できる。この 4 課題を前提にシエラ地域の小農が必要とする具体的な技術を特定し、また、必要とする技術を基本としたモデル的開発プロジェクトを提示することが、シエラ地域において提案した協調体制の早期確立を図り、その体制の中で目に見える成果をあげるために不可欠である。

小農支援の方向を、「1) 自給食糧の安定的生産と生産性の向上」、「2) 手工業的換金農業の導入・定着」、および「3) コミュニティー／地域開発として進める一定規模の投入を前提とした集約農業の導入・定着」と定め、営農、家畜飼養、土壌保全、小規模灌漑、および販売・流通に関する技術を提案した。

## 6.2 勧 告

調査計画の成果は、「小農支援機関間の協調体制の構築」と「貧困小農に必要な技術」に集約されている。これらの成果を踏まえて以下の通り勧告する。

### 【円卓会議設立推進室の設立】

- MAGAP は、本報告書で提案された「円卓会議設立推進室」を早急に設立するべきである。
- この推進室には、協調体制を既に築き上げているトゥングラウア県事務所の経験が活かせる人員配置を行うべきである。
- 円卓会議準備室は、テリトリアル開発計画についての知見を広めるべきである。同様に MAGAP 県事務所カントン担当者にもその知見を広め、MAGAP がカントン・県レベルの協調体制確立のためのリーダーシップを取る必要がある。
- この際に円卓会議設立推進室は、内部マネジメント向上に係わる計画の各機関への導入について、県政府、可能であれば市政府に対しても働きかける必要がある。

### 【ERA's の改善点】

- MAGAP は、本報告書「第 2 章 2.4 ERA's についての SWOT 分析と提言」で提言された ERA's の今後の改善点や考慮事項を十分考慮し、今後の活動に活かしていく必要がある。

### 【小農支援の方向性】

- 地方政府および MAGAP は本報告書「第 2 章 2.3 小農支援の方向性」で提案した 3 つの支援内容（「日常普及活動の重要性」、「地力維持・推進と土壌保全」および「事業の複合化」）をテリトリアル計画に反映させる必要がある。

### 【貧困小農に必要な技術】

- テリトリアル計画には本報告書「第 5 章貧困小農に必要な技術」で提案している小農支援のための各種技術を、地域の実情に合わせて有機的に結びつけて複合プロジェクトとして活用していくことが重要である。また、実際の計画においては、特に地域の過疎化、ジェンダーなどに配慮しながら進めることが必要である。

## 卷末添付資料

---

## 添付資料 4.2.1 MAGAP プロジェクトプロフィール表

計画事務局	申請書 DPP-IT-01
-領土介入申請書-	

1. プログラムまたはプロジェクト情報			
プログラム名：			
プロジェクト名：			
申請者：			
場所：	県	カントン	パロキア
プロジェクト予算：			
	投入額	地方 CP の投入額	その他の CP 投入額
投資分野：	<input type="checkbox"/> 農業 <input type="checkbox"/> 畜産 <input type="checkbox"/> 水産養殖 <input type="checkbox"/> 漁業 林業		
投資の種類：	生産支援		
生産過程への関与	<input type="checkbox"/> 生産を可能にする要素の有無 <input type="checkbox"/> 小規模農家組合の設立 <input type="checkbox"/> 農村地帯への支援・技術移転 <input type="checkbox"/> 生産 <input type="checkbox"/> 貯蔵 <input type="checkbox"/> 国内販売 <input type="checkbox"/> 輸出 <input type="checkbox"/> 消費 <input type="checkbox"/> その他 (指定):		

2. プロジェクトまたはプログラムの解析					
受益者及び職業増加の影響	優	良	可	劣	不可
新たな職場の発生	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
農村地帯労働者の収入増加	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
農村地帯での消費レベルの改善	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
市街地での消費レベルの改善	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
女性への職場又は機会の向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
生産能力の改善・構築	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
組織能力の改善・構築	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他地区での類似案件	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
プログラム・プロジェクトの範囲と位置	優	良	可	劣	不可
貧困地帯に位置する農村地帯群集への配慮	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
極小・小規模農家や海岸地帯の村落への配慮	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
人種や国籍への配慮	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法的に開設されたグループへの配慮	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
非公式な農家及び / 又は漁業関連のグループへの配慮	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

地方での計画へのリンク	優	良	可	劣	不可
計画地区 (SENPLADES)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Province 評議会	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
市町村	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Parroquial 委員会	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
慈善団体 / NGO	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
民間組織	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
需要・供給の解析	優	良	可	劣	不可
人的資源の能力の有無	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
組織能力の有無	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地方自然資源の適切・持続的利用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
提供する製品とサービスは基本需要に相当するか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
既存の需要不足を提供する製品とサービスで補えるか (消費)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
プロジェクトによる製品やサービスは既存プロジェクトと比較して質的に同等か上まるか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>結果</b>	a. b. c. d. e.				
<b>助言</b>	a. b. c. d. e.				

3. 解析責任者の情報			
組織：	水産養殖局		
部署：			
	作成者：	チェック者：	許可者：
責任者サイン			
職員名：			
職員の職位：			

添付資料 4.2.2 MAGAP チンボラッソ県事務所 POA モニタリングシート

農業家畜水産漁業省												
制度計画局												
年間制度実施計画 2009												
<b>組織：</b> COLTAPROVINCE 農牧局 <b>国家開発計画の目的：</b> (相当する項目にチェック) 1. 社会的公平、集結と統合を可能にする 2. 住民の能力とポテンシャルを改善 3. 生活水準と寿命の改善 4. 清潔で持続的な環境を促進 5. 国家独立と平和を確保 6. 安定的・公平的・気品のある職業を確保 7. 集会場や公的場の設置と強化 8. 国家の存在を確立し、多文化の個性を強化 9. 正義へのアクセスを改善 10. 住民が政治へのアクセス権を確保 11. 連帯性のある持続可能な経済システムを確立 12. 住民福祉の改革 <b>国家開発計画の目的：</b> 農業生産の増大 <b>国家開発計画の指数：</b> 農牧業セクターで 1.5%の増加にする												
活動コード	カタログによる活動名 活動、アクション、製品、プログラム	年間目標	3ヶ月毎の目標計画 (%)			地理的範囲	チェック方法	受益者数	支出予測 US\$			
			I	II	III				年間合計 I	I	II	III
<b>副成果品 1 トウモロコシ栽培</b>												
<b>a) 改善</b>												
	生産者レベルの融資を促進	5	1	2	2	カントン	書類	150	230	46.1	92.1	92.1
<b>b) 技術移転</b>												
	基本食品と適切な農業を可能にするための技術支援を行う	10	3	4	3	カントン	報告書		460.6	138.2	184.2	138.2
	伝統作物から短いサイクルの有機作物への移行を促進するための代替技術を推進	5	2	2	1	カントン	報告書		230.3	92.1	92.1	46.1
	トウモロコシの製品の安全性を強化						報告書					
	直接消費・農産加工業へのトウモロコシの新種を促進	5	1	1	3	カントン	報告書		230.3	46.1	46.1	138.2
	トウモロコシの認定された種子の使用を推進	8	1	4	3	カントン	書類		368.5	46.1	184.2	138.1
<b>c) 能力改善</b>												
	能力改善イベント(コース、会議、回覧、フィールドワーク、D.M.)	4	1	2	1	カントン	報告書		184.2	46.1	92.1	46.1



活動コード	カテゴリによる活動名 活動、アクション、製品、プログラム	年間目標	3ヶ月毎の目標計画 (%)			地理的範囲	チェック方法	受益者数	支出予測 US\$			
			I	II	III				年間合計 I	I	II	III
<b>d) 組合</b>												
	組織化を支援: 農産物生産組織の育成・強化	5	2	1	2	カントン	書類		230.3	92.1	46.1	92.1
<b>e) 販売への支援</b>												
	最低基本食品の販売を強化、支援、管理	4	1		3	カントン	報告書		184.24	46.06		138.2
	付加価値を向上するために収穫後の管理の雨量区を向上(トウモロコシ)	3			3	カントン	報告書		138.2			138.2
<b>f) 農産物生産網の確立</b>												
	小規模・中規模農家組織への有機栽培の認定活動の支援					カントン	報告書					
<b>g) 現場での貯蔵</b>												
	穀物・趣旨の貯蔵能力の向上	4		1	3	カントン	報告書		184.2		46.1	138.2
<b>h) その他の活動</b>												
	組織間の調整	6	2	2	2	カントン	報告書		276.4	92.1	92.1	92.1
								<b>支出合計</b>	2717.24			

## 添付資料 4.2.3 PPPCH 2010 のプロジェクトプロフィール

1. プロジェクト名：
  - 1.1. 場所：
  - 1.2. 受益組織：
  - 1.3. 参加家族または直接受益者：
    - 1.3.1. 参加家族数又は直接受益者数
    - 1.3.2. 参加家族数又は間接受益者数
  - 1.4. プロジェクトを処理する組織：
  - 1.5. 処理に当たる責任者等の名前：
  - 1.6. 責任者等の住所、電話、メール：
2. プロジェクトによって改善される主な問題点：
3. 背景および妥当性：
4. プロジェクトの概要：
5. 総合目的：
6. 詳細目的：
7. プロジェクトに期待される結果（定性指数）：
  - 7.1. 結果 1：
  - 7.2. 結果 2：
8. プロジェクトに期待される成果品（定量指数）：
  - 8.1. 成果品 1：
  - 8.2. 成果品 2：
  - 8.3. 成果品 3：
9. プロジェクトの詳細予算：
  - 取得する製品の詳細
  - 製品の数量&コスト

項目	単位	数量	単価 (USD)	合計 (USD)
合計				

## 10. プロジェクトへの融資

項 目	HCPCH	市町村	その他
合 計			

## 11. プロジェクトのプロフィールに見合った書類:

- 11.1. 受益者がプロジェクトに参加・貢献できる事に対する組織からのコミットメント条例
- 11.2. プロジェクトの各 C/P の条例
- 11.3. 灌漑事業の場合は水配分の判決
- 11.4. 構造物や建物の場合は土地登記を発行
- 11.5. 受益者の場合は法的に法人として設立
- 11.6. C/P の場合は参加組織のコミットメント証明書を発行

実施年月日:

責任者のサイン

## 添付資料 4.2.4 市政府の補助金申請用紙（トゥングラウア県）

### I. \*\*\*カントンの市町村

#### 1. 提案名

***カントンでの農牧業促進計画の提案 (能力向上と技術移転の強化)	期 間	月	年
	開 始	2月	2010
	終 了	2月	2013

#### 2. 提案のスポンサー

名前:***カントンの市町村及び トゥングラフア*** Provincial 政府	
組織の種類	
<input checked="" type="checkbox"/>	生産者組合
<input type="checkbox"/>	社会開発 NGO
<input type="checkbox"/>	経済・社会開発 NGO
<input checked="" type="checkbox"/>	地方自治体

#### 3. 提案書への指導

<input checked="" type="checkbox"/>	社会投資
<input checked="" type="checkbox"/>	組合販売
<input checked="" type="checkbox"/>	乳製品センターの設置
<input checked="" type="checkbox"/>	サービスの構築

#### 4. 市場への指導

国内市場 + 外国市場

#### 5. 提案地区の位置及び特徴

プロジェクトの受益者

##### 地域&性別人口

	市街地	農村地帯	合計	%
男 性				
女 性				
合 計				

出典：INEC CENSO 2001 y PLAN ESTRATÉGICO CANTONAL 2007

#### 6. 提案の背景

## 7. 提案の妥当性

計画 戦略 カ * 業 * 牧 * 産	プログラム	選定されたプロジェクト
	1. 社会組織の強化	
	2. 能力改善及び技術移転	
	3. マーケティング及び農産加工業	
	4. 非常活動	
	5. クレジット	

## 8. 提案の目的

目的：  目標：
----------------

## 9. コンポーネント毎のプロジェクトと活動の予想結果

コンポーネント 1: 結果 1: 活動: A1. A2. A3. A4. 結果 2: 活動: A1. A2.
コンポーネント 2: 結果 1: 活動: A1. A2. A3. A4. 結果 2: 活動: A1. A2. A3.

## 10. コンポーネント毎の結果達成指数

### コンポーネント 1.

結果 1	
指数 1.1	
指数 1.2	
指数 1.3	
結果 2	
指数 2.1	
指数 2.2	

コンポーネント 2.

結果 1	
指数 1.1	
指数 1.2	

11. 提案の予算

結果/活動	スケジュール				市***			HCPT		
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	1年次	2年次	3年次	1年次	2年次	3年次
コンポーネント 1										
結果 1										
A1.	XXXX	XXXX	XXXX	XXXX						
A2.	XXXX									
A3.	XXXX							XXXX		
結果 2										
A1.	XXXX									
A2.		XXXX								
結果 3										
A1.		XXXX								
A2.		XXXX								
コンポーネント 2										
結果 1										
A1.			XXXX						XXXX	
A2.		XXXX								
結果 2										
A1.	XXXX	XXXX								
A2.		XXXX							XXXX	XXXX

結果/活動	予 算						受益者	その他
	市町村 ****			HGPT				
	1年次	2年次	3年次	1年次	2年次	3年次		
小計								
C/P 合計								
投資合計								

## 添付資料：営農技術

### 添付資料 5.5.1.1 ジャガイモの改良品種による収量と収益

ジャガイモの品種名	収量 ton/ha	生産費(A) US\$/ha	収入(B) US\$/ha	粗利益(C=B-A) US\$/ha	生産性 (B/A)	収益率 (C/A)%
Gabriela	20.5	637	2,769	2,132	4.3	335
Esperanza	18.2	599	2,270	1,672	3.8	279

出典：Manuel Pumisacho y Stephen Sherwood, *El Cultivo de La Papa en Ecuador*, 2002

### 添付資料 5.5.1.2 キヌアの栄養成分(g/100g)とエネルギー量(kcal/100g)

成分	キヌア	小麦	ライムギ	大麦	米	トウモロコシ
エネルギー量	350.0	309.0	269.0	299.0	353.0	338.0
プロテイン	13.8	11.5	8.7	10.6	7.4	9.2
脂肪	5.0	2.0	1.7	2.1	2.2	3.8
炭水化物	59.7	59.4	53.5	57.7	74.6	65.2
水	12.7	13.2	13.7	11.7	13.1	12.5
食物繊維	5.2	10.6	13.2	9.8	4.0	9.2
ミネラル	-	1.8	1.9	2.3	1.2	1.3

出典：FAO (Sven-Erik Jacobsen y Stephen Sherwood), *Cultivo de Granos Andinos en Ecuador-Informe sobre los rubros quinua, chocho y amaranto*, Julio 2002

### 添付資料 5.5.1.3 他の穀物類とキヌアの無機物含有量(mg/100g)の比較

成分	キヌア	小麦	米	トウモロコシ
カルシウム	66.6	43.7	23	15
リン	408.3	406	325	256
マグネシウム	204.2	147	157	120
カリウム	1,040.0	502	150	330
鉄	10.9	3.3	2.6	-
マンガン	2.21	3.4	1.1	0.48
亜鉛	7.47	4.1	-	2.5

出典：FAO (Sven-Erik Jacobsen y Stephen Sherwood), *Cultivo de Granos Andinos en Ecuador-Informe sobre los rubros quinua, chocho y amaranto*, Julio 2002

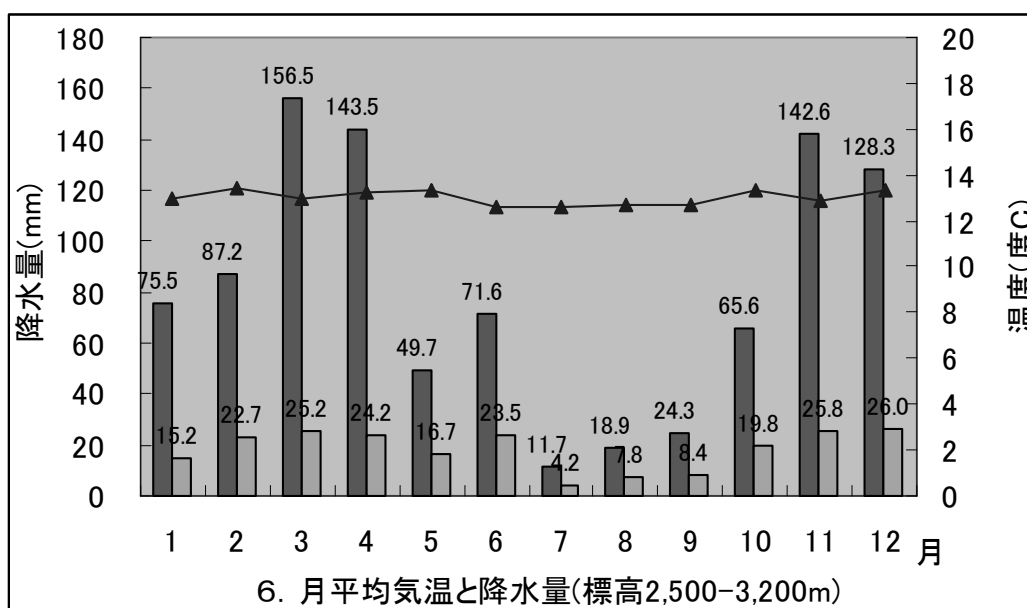
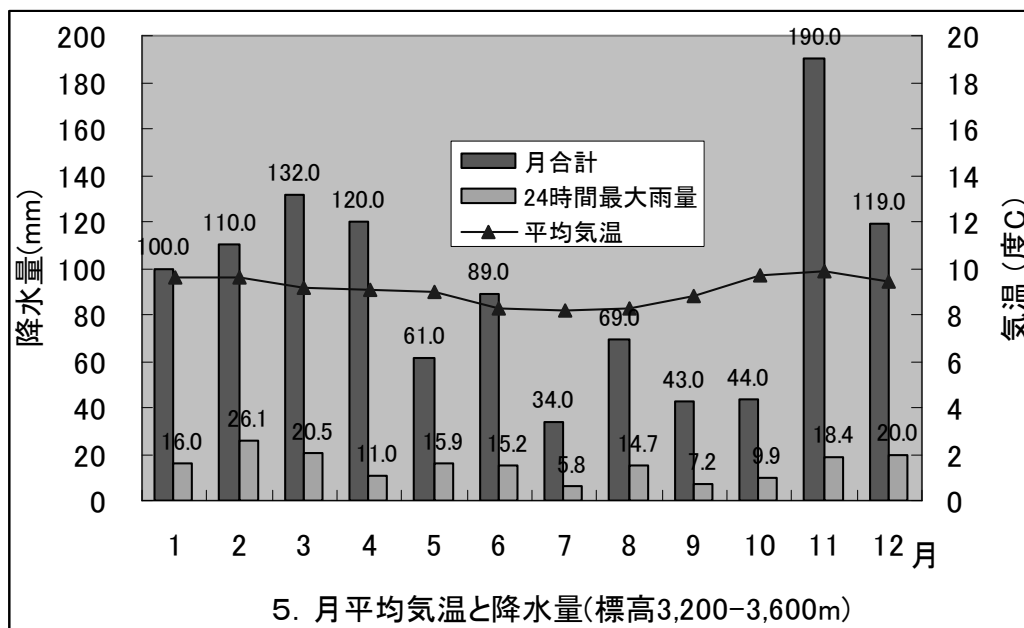
添付資料 5.5.1.4 チョチョコおよびアマランサスの収量と収益

作物名	収量 ton/ha	生産費注(A) US\$/ha	収入(B) US\$/ha	粗利益(C=B-A) US\$/ha	生産性 (B/A)	収益率 (C/A) %
チョコチョコ	0.6	475	680	205	1.4	43.2
アマランサス	1.6	533	800	267	1.5	50.1

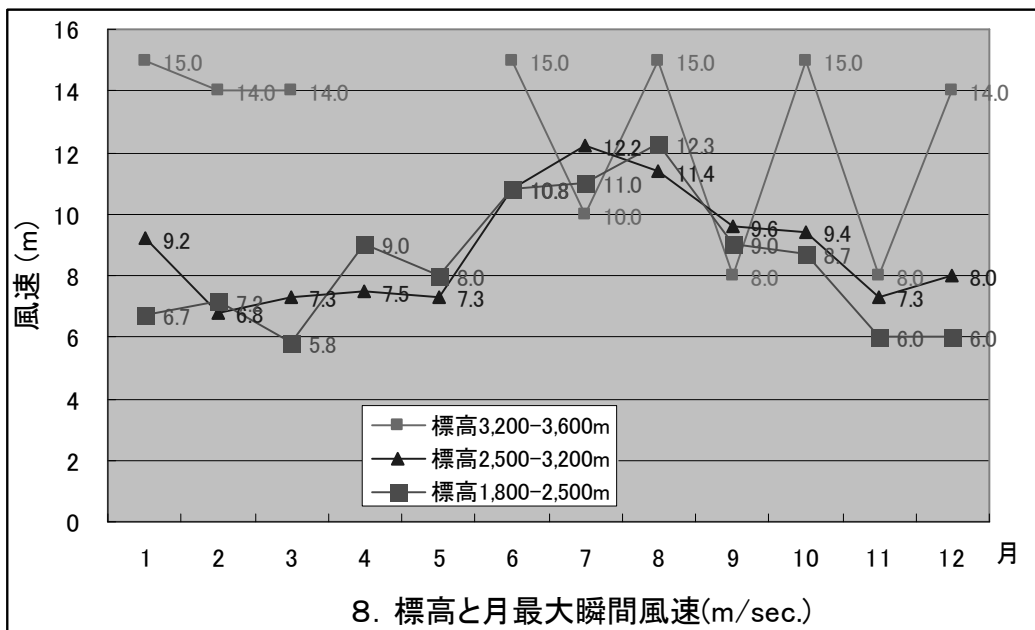
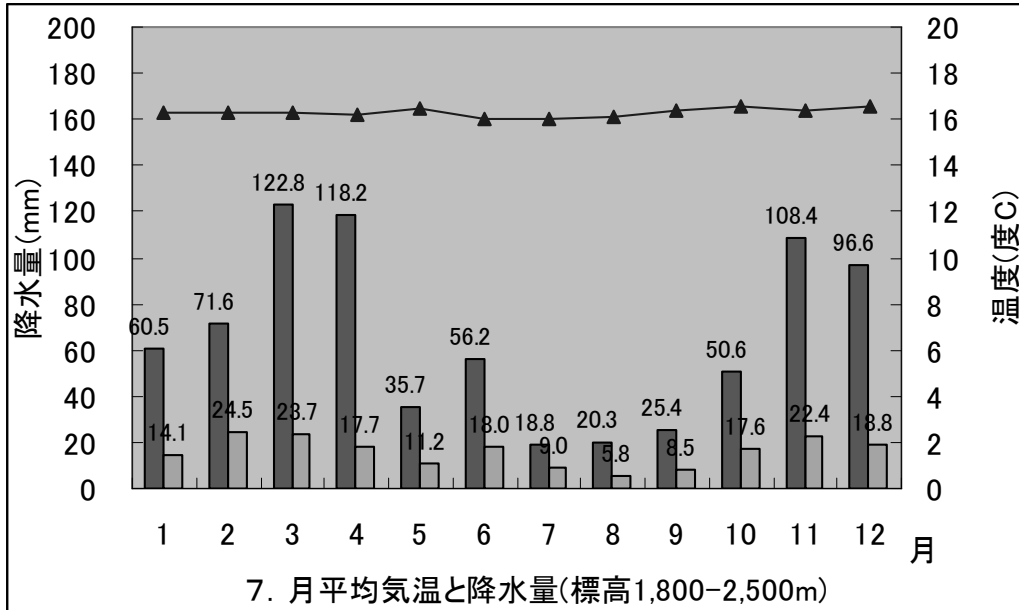
注： チョチョコの生産費は人件費を除いた数値。一方、アマランサスは人件費を含む。

出典：FAO(Sven-Erik Jacobsen y Stephen Sherwood), Cultivo de Granos Andinos en Ecuador-Informe sobre los rubros quinua, chocho y amaranto-, Julio 2002.

添付資料 5.5.1.5, 6, 7 及び 8：気象関連データ

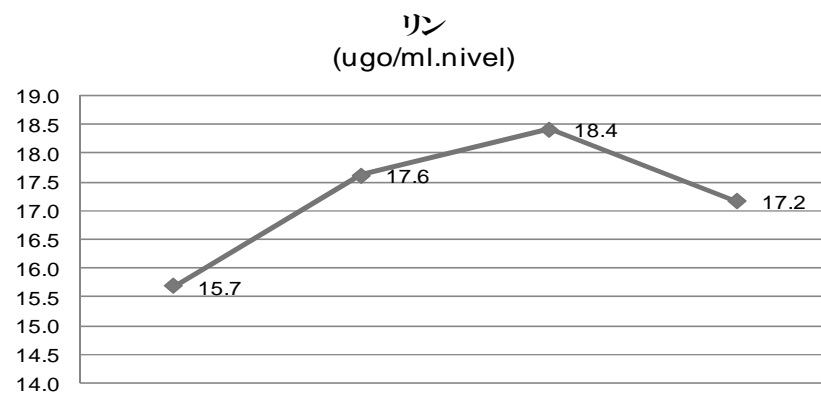
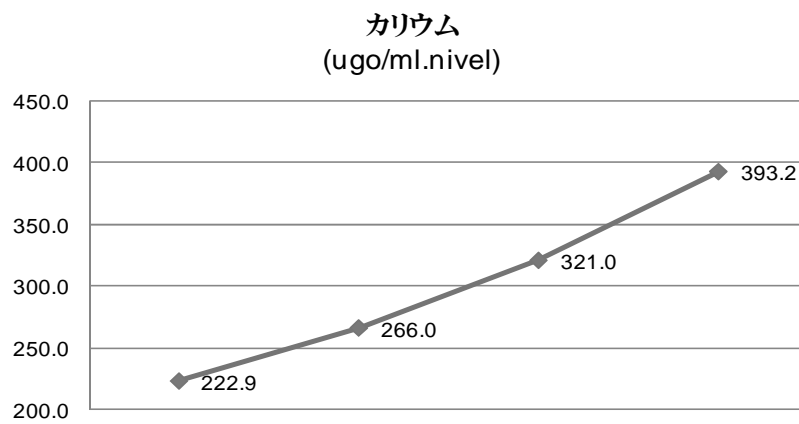
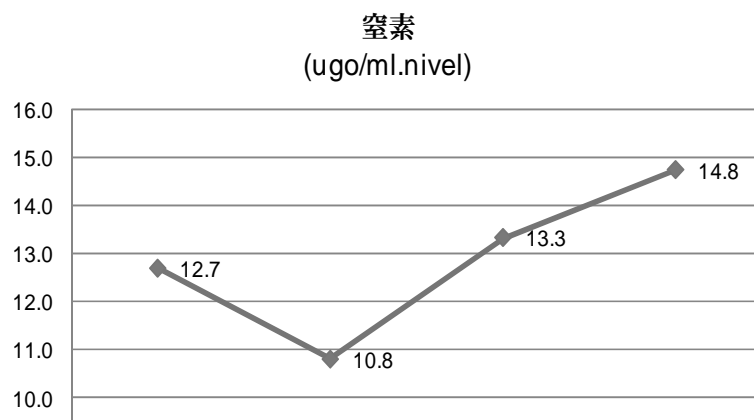
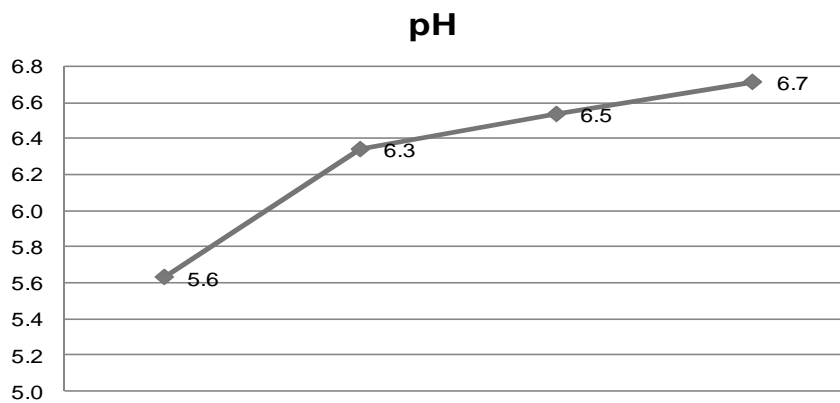




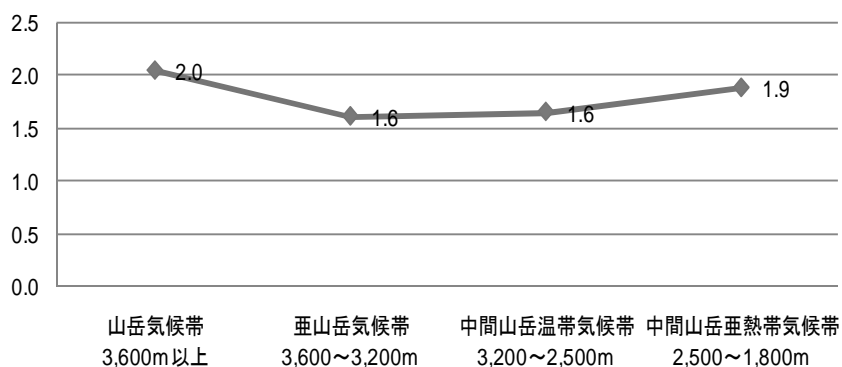


出典: Instituto Nacional de Meteorología e Hidrología, Anuario Meteorológico 2006. Nro. 46 Quito-Ecuador

添付資料 5.5.1.9 チンボラソ県の土壤成分(平均値)



有機物  
(%MO Nivel)



出典：Mauro Guillermo Merino Saltos, Los Microelementos en los Suelos Agrícolas Predominantes de la Provincia de Chimborazo y su Respuesta a la Fertilización a Nivel de Maceta, Escuela Superior Politécnica de Chimborazo, 1990. Mario E. Oñate A., Caracterización Físico-Química de los Suelos de las Areas de Cultivos Andinos Marginales, en Chimborazo, Consejo Nacional de Universidades y Escuela Politécnica, 1990.

添付資料 5.5.1.10 チンボラソ県とピチンチャ県(2003年)におけるメイズーインゲン豆の耕起方法と肥料に関する実験データ

試験区		直接生産費 (US\$/ha)	収入 (US\$/ha)	粗利益 (US\$/ha)
耕起方法	施肥			
<b>Chimborazo 県</b>				
不耕起	無施肥	136	847	711
最小耕起	無施肥	150	983	833
不耕起	標準施肥	237	1,637	1,400
不耕起	標準施肥 + FZn	300	1,753	1,453
<b>Pichincha 県</b>				
不耕起	無施肥	136	230	94
最小耕起	無施肥	150	249	99
不耕起	標準施肥	237	778	541
最小耕起	標準施肥	251	1,019	768
最小耕起	標準施肥 + FC	289	1,095	806
耕起	標準施肥 + FZn	526	1,478	952

FZn = Foliar con Quelato de Zinc, FC = Foliar Completo

出典：INIAP, Evaluación de sistemas de labranza de suelos y fertilización en la asociación maíz-fréjol voluble, Boletín técnico No.121, 2004-Quit

# 協議議事録

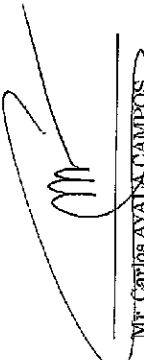
---


MINUTES OF MEETING  
ON  
THE INCEPTION REPORT  
FOR  
THE STUDY  
ON

THE PLAN OF REORGANIZATION OF THE AGRICULTURE  
SUPPORTING SERVICES, COPING WITH POVERTY  
ALLEVIATION FOR RURAL PEASANT IN MOUNTAINOUS  
AREA IN THE REPUBLIC OF ECUADOR

AGREED UPON BETWEEN  
MINISTRY OF AGRICULTURE, LIVESTOCK, AQUACULTURE  
AND FISHERIES  
AND  
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY

Quito, 26, February, 2009

  
Mr. Carlos AYALA CAMPOS  
Asesor Ministerial  
Ministry of Agriculture, Livestock, Aquaculture  
and Fisheries

  
Mr. Takashi FUJITA  
Team Leader  
JICA Study Team

In accordance with the Scope of Work for the Study on The Plan of Reorganization of the Agriculture supporting Services, Coping with Poverty Alleviation for Rural Peasant in Mountainous Area in the Republic of Ecuador (hereinafter referred to as "the Study") signed by the Government of the Republic of Ecuador (hereinafter referred to as "the Government") and the JICA Study Team on 26 February, 2009.

The JICA Study Team headed by Mr. Takashi FUJITA submitted and explained the Inception Report on 20 February, 2009, under the attendance of the JICA Advisory Committee headed by Mr. Sabro YAMAGUCHI, to the Government headed by Mr. Carlos AYALA CAMPOS and to the officials members involved to the present Study, at the same time exchange of opinions was made between the Ecuadorian side and the Study Team.

As the result of the said explanation and an exchange of opinions, the Ecuadorian side and the Study Team have agreed the following:

1. The Government received from the Study Team Thirty (30) copies of the Inception Report in Spanish.
2. The Study Team explained the Inception Report and the institutions related with this Study manifested the agreement of contents of the Inception Report and the Job Program of the JICA Study Team.
3. Both parts, (MAGAP and The JICA Study Team) confirmed the importance of assignment of counterparts. (In charge of each institutions for the Study)
4. The JICA Study Team requested office space with necessary facility for JICA Study Team to MAGAP.

This Minutes of Meeting is prepared in English and Spanish. In case that any discrepancy may arise between these two versions, the English version shall prevail over the Spanish language version.



66

## List of Participants

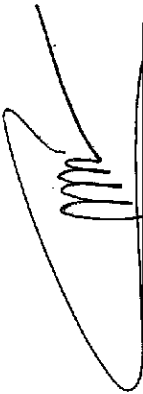
1. Ecuadorian side
  - 1) **MAGAP**  
**International Cooperation**  
Irene Schultdt      Cooperation Asesor  
Iwao Yamaxita      International Cooperation Asesor  
Maria Augusta Moscoso      Cooperation Technical Team Member  
Hector Jaramillo      Cooperation Technical Team Member  
Mercedes Astudillo      Team Support Member  
**Planificación**  
Fausto S. Poveda R.      Planning Technical Team Member  
Jhesenia Albán      Planning Technical Team Member  
**Chimborazo**  
Jorge Comfiero B      Leader of Planning Division
  - 2) **INCCA**  
Cesar Silva      Director of Planification
  - 3) **INIAP**  
Cristina Iglesia      Coordinator of Transference Division
2. Japanese side
  - 1) **Japan International Cooperation Agency (JICA)**  
Saburo Yamaguchi      Resident Representative  
Kiyoshi Hirozumi      Assistant Resident Representative  
Santiago Guerrero      International Cooperation Officer
  - 2) **The JICA Study Team**  
Takashi Fujita      Team Leader  
Kazuo Nagai      Team Member  
Akira Nakamura      Team Member  
Carlos Wakabayashi      Team Member  
Motoyo Araki      Team Member




MINUTES OF MEETING  
ON  
THE PROGRESS REPORT  
FOR  
THE STUDY  
ON  
THE PLAN OF REORGANIZATION OF  
THE AGRICULTURE SUPPORTING SERVICES,  
COPING WITH POVERTY ALLEVIATION  
FOR RURAL SMALL SCALE FARMERS  
IN MOUNTAINOUS AREA  
IN THE REPUBLIC OF ECUADOR

AGREED UPON BETWEEN  
MINISTRY OF AGRICULTURE, LIVESTOCK, AQUACULTURE  
AND FISHERIES  
AND  
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY

Quito, 24, June, 2009



Mr. Carlos AYALA CAMPOS  
Asesor Ministerial  
Ministry of Agriculture, Livestock, Aquaculture  
and Fisheries



Mr. Takashi FUJITA  
Team Leader  
JICA Study Team

In accordance with the Scope of Work for the Study on The Plan of Reorganization of the Agriculture supporting Services, Coping with Poverty Alleviation for Rural Small Scale Farmers in the Mountainous Area in the Republic of Ecuador (hereinafter referred to as "the Study") signed by the Government of the Republic of Ecuador (hereinafter referred to as "the Government") and the JICA Preparatory Study Team on 5 March, 2008, the Study has been commenced on February 2009 and will be finalized on July 2010.

The JICA Study Team headed by Mr. Takashi FUJITA submitted and explained the Progress Report on the meeting for the Conductor Committee held on 24 June, 2009, to the Government headed by Mr. Carlos AYALA CAMPOS and to the officials members involved to the present Study, at the same time exchange of opinions was made between the Ecuadorian side and the Study Team.

As the result of the said explanation and an exchange of opinions, the Ecuadorian side and the Study Team have agreed the following:

1. The Government received from the Study Team Thirty (30) copies of the Progress Report in Spanish.
2. The Ecuadorian side and the Study Team agreed on contents of the Progress Report.

This Minutes of Meeting is prepared in English and Spanish. In case that any discrepancy may arise between these two versions, the English version shall prevail over the Spanish language version.

## List of Participants for the Conductor Committee

1. **Ecuadorian Side**
    - 1) **MAGAP**  
Cooperación Internacional  
Ing. Irene Schultdt  
Iwao Yamaxita  
Dra. María Augusta Moscoso  
Lcd. Héctor Jaramillo  
Tgl. Mauricio RIVERA J.  
**Subsecretaría de Planificación**  
Ing. Diego Viscaino  
**Subsecretaría Regional de la Sierra**  
Ing. Lucy Montalvo  
Ing. Ángel Vaca Cazorla  
Coordinadora  
Asesor de Cooperación Internacional  
Miembro de Equipo Técnico de Cooperación  
Miembro de Equipo Técnico de Cooperación  
Subsecretario  
Subsecretaria  
Coordinador de Fomento Agropecuario
    - Director de Desarrollo Rural**  
Ing. David Espinoza
  - 2) **INCCA**  
Ing. Rómulo Chávez  
Dr. Luis Oña
  - 3) **INIAP**  
Ing. Víctor Proaño
  - 4) **INAR**  
Ing. Fernando Herrera
  - 5) **INDA**  
Ab. Ec. Galo Aldaz
  - 6) **BNF**  
Ing. Galo Paredes  
Miguel Ángel Gonzales  
Abdón Rodríguez
2. **Japanese Side**
    - 1) **Agencia de Cooperación Internacional del Japón (JICA)**  
Kiyoshi Hirozumi  
Representante Residente Adjunto
    - 2) **Equipo de Estudio de JICA**  
Takashi Fujita  
Kazuo Nagai  
Akira Nakamura  
Motohiro Yasuhisa  
Carlos Wakabayashi  
Jefe del Equipo  
Miembro del Equipo  
Miembro del Equipo  
Miembro del Equipo  
Miembro del Equipo

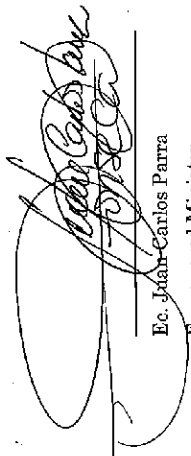


MINUTE OF MEETING  
ON  
THE PROGRESS REPORT  
FOR  
THE STUDY  
ON

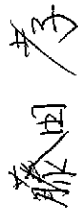
THE PLAN OF REORGANIZATION OF  
THE AGRICULTURE SUPPORTING SERVICES,  
COPING WITH POVERTY ALLEVIATION  
FOR RURAL SMALL SCALE FARMERS  
IN MOUNTAINOUS AREA  
IN THE REPUBLIC OF ECUADOR

AGREED UPON BETWEEN  
MINISTRY OF AGRICULTURE, LIVESTOCK, AQUACULTURE  
AND FISHERIES  
AND  
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY

Quito, 27, October, 2009



Ec. Juan Carlos Parra  
Empowered Minister  
Ministry of Agriculture, Livestock, Aquaculture  
and Fisheries



Mr. Takashi FUJITA  
Team Leader  
JICA Study Team

In accordance with the Scope of Work for the Study on The Plan of Reorganization of the Agriculture supporting Services, Coping with Poverty Alleviation for Rural Small Scale Farmers in the Mountainous Area in the Republic of Ecuador (hereinafter referred to as "the Study") signed by the Government of the Republic of Ecuador (hereinafter referred to as "the Government") and the JICA Preparatory Study Team on March 5, 2008, the Study has been commenced on February 2009 and will be finalized on July 2010.

The JICA Study Team headed by Mr. Takashi FUJITA submitted and explained the Interim Report on the meeting for the Conductor Committee held on October 27, 2009, to the Government headed by Ec. Juan Carlos Parra and to the official members involved in the present Study, at the same time an exchange of opinions was made between the Ecuadorian side and the Study Team.

As the result of said, the Ecuadorian side and the Study Team have agreed to the following:

1. The Government received from the Study Team Thirty (30) copies of the Interim Report in Spanish.
2. The Ecuadorian side and the Study Team agreed on contents of the Interim Report.
3. All of the comments in the meeting will be utilized to improve the activities in the study.

This Minute of Meeting is prepared in English and Spanish. In case that any discrepancy may arise between these two versions, the English version shall prevail over the Spanish language version.



## Participants List

**Consejo Provincial de Cotopaxi**  
 Delegado  
 Departamento Técnico  
 Técnico Delegado  
**Consejo Provincial de Tungurahua**  
 Ing. Fernando Cofre  
**Consejo Provincial de Chimborazo**  
 Ing. Roberto Ríos  
 Ing. Juan Carlos Arcellano  
**2. Japanese Sede**  
**1) Equipo de Estudio de JICA**  
 Takashi Fujita  
 Kazuo Nagai  
 Akira Nakamura  
 Motohiro Yasubisa  
 Carlos Wakabayashi

- 1. Ecuador Side**  
**1) MAGAP**  
 Subsecretaría de Planificación  
 Ec. Juan Carlos Parra  
**Cooperación Internacional**  
 Ing. Irene Schultt  
 Iwao Yamashita  
 Dra. María Augusta Moscoso  
 Led. Héctor Jaramillo  
 Tgl. Mauricio Rivera J.  
**Subsecretaría Regional de la Sierra**  
 Ing. Angel Vaca Cazorla  
**Subsecretaría de Fomento Ganadero**  
 Dr. Silvana Acosta  
 Ing. Lourdes Reinoso G.  
**Subsecretaría de Fomento Agrícola**  
 Ing. Jessenia Mera C.  
**Dirección Provincial de Cotopaxi**  
 Ing. Flankling Pilatasig Molina  
**Dirección Provincial de Tungurahua**  
 Ing. Fabián Valencia  
 Ing. Rusvel Ríos  
**Dirección Provincial de Bolívar**  
 Ing. Luis Rivera  
 Ing. Edyvin Lara  
**Dirección Provincial de Chimborazo**  
 Ing. Víctor Angueta  
 Ing. Mauricio Proaño  
 Ing. Diego Vizeaino  
**2) INCCA**  
 Dr. Luis Oña  
**3) INIAP**  
 Ing. Fausto Merino  
**4) INAR**  
 Ing. Washington Uquiza B.  
 Ing. Daniel Toro  
 Sra. Máltha C. Burgos  
 Ing. Ximena Rojas  
**5) INDA**  
 Ab. Ec. Galo Aldaz  
**6) BNF**  
 Econ. Oscar Terán  
 Dra. Mónica Ruiz  
**7) Consejo Provincial**  
 Subsecretario de Planificación, Ministro Encargado  
 Asesora de Cooperación Internacional  
 Asesor de Cooperación Internacional JICA  
 Miembro de Equipo Técnico de Cooperación  
 Miembro de Equipo Técnico de Cooperación  
 Coordinador de Fomento Agropecuario  
 Directora de Subsecretaría de Fomento Ganadero  
 Técnico Tercero Especial  
 Director de Semilla e Insumos  
 Director Provincial  
 Director Provincial  
 Coordinación  
 Director Provincial  
 Técnico  
 Director Provincial  
 Asesor Ministro  
 Asesor Ministro  
 Técnico Seguimiento y Evaluación  
 Director de Transferecia  
 Director Ejecutivo  
 Director de Desarrollo  
 Cooperación Externa  
 Fortalecimiento Organizacional  
 Director Ejecutivo  
 Director de Estudios y Estadísticas  
 Técnica de Estudios y Estadísticas

MINUTES OF MEETING  
ON  
THE DRAFT FINAL REPORT  
FOR  
THE STUDY  
ON  
THE PLAN OF REORGANIZATION OF  
THE AGRICULTURE SUPPORTING SERVICES,  
COPING WITH POVERTY ALLEVIATION  
FOR RURAL PEASANT IN MOUNTAINOUS AREA  
IN THE REPUBLIC OF ECUADOR

AGREED UPON BETWEEN  
MINISTRY OF AGRICULTURE, LIVESTOCK, AQUACULTURE AND  
FISHERIES  
AND  
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY

Quito, 21, July, 2010


In accordance with the Scope of Work for the Study on The Plan of Reorganization of the Agriculture supporting Services, coping with Poverty Alleviation for Rural Small Scale Farmers in the Mountainous Area in the Republic of Ecuador (hereinafter referred to as "the Study") signed by the Ministry of Agriculture, Livestock, Aquaculture and Fishers of the Republic of Ecuador (hereinafter referred to as "MAGAP") and the JICA Preparatory Study Team on 12 November, 2008, the Study in Ecuador has been commenced on February 2009 and will be finalized on July 2010.

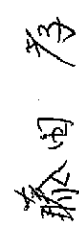
The JICA Study Team headed by Mr. Takashi FUJITA submitted and explained the Draft Final Report on the meeting for the Conductor Committee held on 21 July, 2010, to the MAGAP headed by Eco. Juan Carlos Parra, Secretary of Planning and to the officials members involved to the present Study, at the same time exchange of opinions was made between the Ecuadorian side and the Study Team.

As the result of the said explanation and an exchange of opinions, the Ecuadorian side and the Study Team have agreed the following:

1. The MAGAP received from the Study Team Fifty Five (55) copies of the Draft Final Report in Spanish.
2. The Ecuadorian side and the Study Team agreed on contents of the Draft Final Report.
3. Both sides agreed that the opinions and comments on the Draft Final Report will be delivered by each of the participating institutions to International Cooperation of the MAGAP until 02 August, which in turn will deliver them to the study team until 09 August.
4. The MAGAP has expressed its intention to establish a preparation team inside the headquarter of the MAGAP, which in turn will activate the pilot project for carrying out the round table meetings and forums in the province of Chimborazo.
5. The MAGAP has requested the "Support for the Implementation of the Pilot Project on Realization of Round Table Meetings and Forums supporting the Territorial Arrangement Plan" to JICA.
6. The study team promised to convey this request to JICA in Japan.

This Minutes of Meeting is prepared in English and Spanish. In case that any discrepancy may arise between these two versions, the English version shall prevail over the Spanish language version.

  
Eco. Juan Carlos Parra  
Secretary of Planning  
Ministry of Agriculture, Livestock,  
Aquaculture and Fishers

  
Ing. Takashi FUJITA  
Jefe del Equipo  
JICA Study Team





## List of Participants for the Conductor Committee

1. Ecuadorean Side
  - 1) **MAGAP**  
 Planning Secretariat  
 Econ. Paul Pirella  
 International Cooperation  
 Ing. Irene Schuidt  
 Iwao Yamashita  
 Dra. María Augusta Moscoso  
 Lcdo. Héctor Jaramillo  
 Tgl. Mauricio Rivera J.  
 Secretariat for Institutional Reform  
 Ing. Eduardo Zalamea  
 Ing. Alexandra Ortega  
 Secretariat of Agricultural Development  
 Ing. Felipe Sotomayor  
 Livestock Development Secretariat  
 Ing. Diana Llor  
 Chimborazo Provincial Direction / Secretariat Regional of Zone 3  
 Ing. Víctor Anguiera  
 Tungurahua Provincial Direction  
 Ing. Josué Salazar  
 Ing. Holger Vivanco  
 Cotopaxi Provincial Direction  
 Ing. Hernán López-Araujo
  - 2) **INCCA**  
 Ing. Mauricio Proaño
  - 3) **INIAP**  
 Ing. Fausto Merino
  - 4) **BNF**  
 Ing. Mónica Ruiz
  - 5) **SENPLADES**  
 Carlos Cando Arias  
 José Jurado
  - 6) **Cotopaxi Provincial Council**  
 José Antonio Lluminaisig
  - 7) **Chimborazo Provincial Council**  
 Ing. Fernando Freire
  - 8) **Bolívar Provincial Council**  
 Ing. Mauricio López
2. Japanese Side
  - 1) **Japan International Cooperation Agency (JICA)**  
 Deputy Resident Representative  
 Kiyoshi Hirozumi
  - 2) **JICA Study Team**  
 Takashi Fujita  
 Kazuo Nagai  
 Motohiro Yasuhisa  
 Carlos Wakabayashi  
 Sachii Nozaki  
 Team Leader  
 Team Member  
 Team Member  
 Interpreter  
 Interpreter